

あらかわ 区議会だより

No.209

平成 23 年 4 月 3 日発行

編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話 03-3802-3111(代表)

平成 23 年第 1 回定例会号

平成 23 年度一般会計予算ほか 3 特別会計予算を可決

区議会第 1 回定例会

区議会第 1 回定例会は、2 月 15 日から 3 月 14 日までの 28 日間の会期で開かれました。区長の平成 23 年施政方針説明の後、本会議の 1 日目と 2 日目には、7 人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました（要旨は 2・3 面に掲載しています）。

本定例会では、議案 38 件が提出されました。このうち平成 23 年度予算 4 件は、予算に関する特別委員会を設置して審査を行いました（議案の審議結果は 8 面に掲載しています）。

東北地方太平洋沖地震の被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます

3 月 11 日に発生しました東北地方太平洋沖地震でお亡くなりになった方々に、謹んで哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

この東北地方太平洋沖地震は、東北地方から関東地方に及ぶ広い範囲に甚大な被害をもたらしました。死者・行方不明者は合わせて 2 万人を超え、避難所での生活を余儀なくされている被災者は、約 26 万人にも上っています（警察庁まとめ、3 月 23 日 12:00 現在）。政府の試算では、震災による被害額は 25 兆円にも及ぶとされています。

今回の震災は、日本ではかつてない規模の大きさであり、国全体で総力をあげて、被災地支援や復旧と復興に取り組んでいくことが求められています。荒川区議会といたしましても、区民の皆様とともに、被災された皆様への支援に全力で取り組んでいきたいと考えております。区民の皆様におかれましては、荒川区議会の被災地支援の取り組みについて、一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

東北地方太平洋沖地震の被害に遭われた方々に義援金を送金

荒川区議会では、今般の東北地方太平洋沖地震の被害に遭われた方々に対する区議会議員の義援金 50 万円を社会福祉法人中央共同募金会に送金しました。

【第 1 回定例会日程】

2 月 15 日	本会 議
2 月 17 日	本会 議
2 月 21 日	予算に関する特別委員会
2 月 23 日	総務企画委員会 福祉・区民生活委員会
2 月 24・25・28 日	建設環境委員会
3 月 1・3・4・7・8 日	予算に関する特別委員会
3 月 11 日	議会運営委員会
3 月 14 日	本会 議
	文教・子育て支援委員会

意見書提出

本定例会では 3 件を可決し、関係機関に提出しました。

「協同労働の協同組合法」の速やかな制定を求める意見書
（衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣あて）

若者の雇用対策のさらなる充実を求める意見書
（内閣総理大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣あて）

鳥インフルエンザ対策の強化を求める意見書
（内閣総理大臣・厚生労働大臣・農林水産大臣あて）

採択した請願・陳情

採択

「協同労働の協同組合法の速やかな制定を求める意見書」採択に関する陳情

趣旨採択

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める陳情
保育料現状維持を求める陳情

掲載記事のご案内



区政のことをきく
一般質問要旨

北城 貞治 議員（自民党）
中村 尚郎 議員（公明党）
小林 行男 議員（共産党）
清水 啓史 議員（民主・市民）
小坂 英二 議員（日本創新党）
菅谷 安男 議員（自民党）
相馬 堅一 議員（共産党）

区長の施政方針説明
予算審査の概要
・主な総括質疑
・主な締めくくり総括質疑
・予算の審査経過
予算に対する各会派の討論

予算に対する各会派の討論
（続き）
委員会活動
・議会運営委員会
・常任委員会
・特別委員会
委員会構成の変更について

議会改革の取り組みについて
議案の審議結果

区政の未来をたく

一般質問要旨

「おせっかいを大切に」運動の展開、途切れのない障がい者支援体制について



北城 貞治
(自民党)

「おせっかいを大切に」運動の展開について

「無縁社会」といわれる今日、この背景にあるのは、人間関係が希薄になってしまったことにあると考える。温かい地域力を持つ荒川区を創出することが私達の責務であり、その源泉は、人間関係の濃さである。荒川区には、119町会を中心に、良い意味で、おせっかいなおじさんやおばさん、お兄さん、お姉さんがいる。この人達の力を活かし、「人間関係の濃い」社会を創出するため、「おせっかいを大切に」運動を展開すべきと考えるがどうか。

社会構造の変化に伴い、増加を続けている孤独死や児童虐待などの悲惨な事件を未然に防ぐためには、家族や隣人を思いやる心の醸成が重要と考えている。区では、町会をはじめ区内80余団体で構成されている「あらかわの心」推進運動区民委員会が、互いに助け合い、支え合う地域を実現するため、「おせっかいおじさん・おばさん運動」を開始し、普及活動を続けている。今後、区としても、温かい地域社会が築かれるよう、表彰制度の創設など、この運動が活発化する方策を検討していく。

途切れのない障がい者支援体制の確立について

障がいのある方が地域で自立した生活を営むためには、個別の療育が行われる乳幼児期、個別の療育から離れてしまう学齢期、卒業後において、それぞれの障がいに合わせて就労訓練や就労に向けたきめ細かい相談・支援が必要である。その実現には、ステージが

変わることに相談すべきところが変わるのではなく、ステージに沿った途切れのない相談・支援が必要であり、このような体制を確立していくためには、医療・保健・福祉・教育・就労など、様々な関係機関の連携を強めていく必要がある。途切れのない障がい者支援体制の確立について問う。

区では、新年度から、学齢児が安心して学校生活が送れるよう、保護者同士の情報交換や交流の場の整備とともに、特別支援学校等に通学する重度の障がい児についても、放課後を利用した機能訓練を実施していく。卒業後は、「スタートまちゃ」における事務補助訓練などを通して、より一層の支援を行う考えであり、こうした

た取り組みにより、障がい者のライフステージに沿った途切れのない相談支援体制を強化していく。さらに親なきあとの対策についても、障がい者が安心して地域で暮らし続けることができる仕組みづくりの調査研究をしていく。

○予算編成に対する区的基本的な方針について
○更に行政改革を推進していく為、今後の行政評価制度の在り方について
○「荒川区民総幸福度」について
○放課後子どもプランの早期全校実施について
○住み慣れた地域で、介護が受けられる体制の確立について

国民健康保険料の値上げと地域経済の活性化策について



小林 行男
(共産党)

国民健康保険料の値上げについて

国民健康保険料の所得割の算定方法が住民税方式から旧ただし書き方式に変更される。この変更は、低所得者に負担増を押し付けられるものであるため、見直すべき。

23区では、急激な負担の増加を避ける経過措置等を講じた上で、税制改正の影響を受けにくく、保険料が安定する旧ただし書き方式に移行する条例の改正案を提案している。

国民健康保険料の経過措置については、実質値上げにつながらないよう対策を講じるべき。

経過措置は、旧ただし書き方式による所得割算定までの激変緩和

和であり、23区として、これ以上の一般財源を投入し、さらなる措置を講じることは困難である。

国民健康保険料の滞納が続くと、資格証明書が発行されるが、多数は低所得者である。医療機関での診療を躊躇するなど、命に関わる問題なので、資格証明書の発行をやめ、無保険者をなくすべき。

資格証明書は、納付相談の機会を作ることを目的に交付しており、医療機関利用の際には、状況により、短期の被保険者証に切り替えるなどの対応をしている。

地域経済の活性化策を

建設不況の下、区内業者の仕事そのものの減少が続いている。

間に合わせた環境を選択しやすくする。区は私立幼稚園関係者と十分な協議を行い、区立幼稚園での預かり保育を実施すべきでは。

区内私立幼稚園全園が各園の特色として実施している預かり保育が、保護者が幼稚園を選択する上で、重要なポイントの一つとなっていると考えている。私立幼稚園への影響等を考慮しながら、区立幼稚園での預かり保育の導入に関する調査検討を進めていく。

無縁社会と高齢者の見守り、子育て支援策の充実について



中村 尚郎
(公明党)

無縁社会と高齢者の見守りについて

家族や社会など頼れる人が回りにいない「無縁社会」は、現代の本質的な問題である。「幸福実感都市」を標榜する区として、無縁社会の拡大とともに、増加していく一人暮らし高齢者への対応についても、荒川区自治総合研究所の研究テーマに加えてはどうか。

荒川区自治総合研究所の研究

においても、地域のつながりの重要性を改めて認識しており、無縁社会の問題とも密接な関係にあると言える。今後、研究所と十分協議し、基礎自治体にふさわしい研究テーマを質問の趣旨も踏まえ選定し、より充実した研究活動を支援していく。

区は、地域社会の様々な組織の協力を得て、高齢者の見守りの施策を講じているが、さらにきめ

細かい支援を行っていくため、シルバー人材センターを活用し、区と連携した仕組みづくりの可能性も視野に入れて、高齢者の見守りについて幅広い事業を展開すべきと考えるがどうか。

これまで区が進めてきた高齢者の見守り事業における町会や民生委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、新聞販売店の協力も考慮しながら、シルバー人材センターを活用した高齢者の見守りについて、シルバー人材センターと協議していきたいと考える。

子育て支援策の充実について

認可保育園保育料と比較して高い水準にある認証保育所保育料に対する補助金を増額し、個々の所得に応じて、認可保育園保育料

の格差を是正し、負担軽減を図るべきと考えるがどうか。

認証保育所保育料に対する補助金の増額は、利用状況や財政負担等を勘案しつつ、鋭意検討していく。

保育ママの延長保育拡大は、保育ママ活用の促進につながる。保育ママが延長保育に取り組み動機付けとなる延長保育料の引き上げを行うとともに延長保育料に係る補助金を交付してはどうか。

保護者が支払う30分につき200円の保育料のみで運営する延長保育を実施する保育ママが少ない状況もあることから、保育ママに対する延長保育に係る補助金の交付も検討していく。

区立幼稚園で預かり保育を実施すれば、保護者が自らの就労時

区の公共工事は区内業者に発注しているが、下請けについても区内業者の活用を徹底すること。

区は、一定規模以上の工事の下請けに区内業者活用の目標値を設定し、元請業者から活用状況を報告させることとしている。

地元小規模建設業者の受注の機会を拡大策として、公共施設の小規模工事の登録制度を早期に実施すべき。

区では、一定金額以下の契約案件について、小規模な区内業者を登録する制度を設けることとしており、より多くの区内業者が受注できる仕組みを設計していく。

地元建設業者の仕事づくり、地域経済の活性化や居住空間の改善などの効果が期待できる住宅リフォーム助成を創設すること。

区は、耐震補強工事支援事業で区内事業者の受注機会の拡大に配慮しており、今後も受注機会の拡大を研究していく。

その他の質問項目

○TPP（環太平洋連携協定）参加問題について

○今後の財政運営について

○高齢者対策について

○教育行政について

○放置自転車対策について

詳細については現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区議会ホームページで平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



あらかわ

学校、都市整備について



清水 啓史
(民主・市民)

学校について

よりきめの細かい教育を行っていくために、平成23年度から少人数による学級編成が予定をされている。今回は、まず小学校一年生においてのみ導入をされることになる。これから対象学年が拡大をしていった場合、学校校舎の教室整備が必要だと考えられる。学校選択制を導入している荒川区において、最大限児童・生徒の希望に沿うよう受け入れていくことを期待している。そのためにも、今後の動向を見据えながら、各校での整備計画づくりに着手すべきと

考えるがどうか。

普通教室に転用を図る教室への空調整備や黒板設置などの取り組みを始めている。少人数学級編成の学年が進行した場合、教室の不足が生じる可能性のある学校があることから、今後も、国の方針やその動向も見据え、施設面における対応について、個別・具体的に検討を進めていく。

都市整備について

現在、様々な地域で鉄道高架が活用されている。荒川区においても、鉄道高架下の防犯上の安全を確保した上で、鉄道事業者と

協議し、「高架利用計画」をたて、効果的に活用してはどうか。

現在の管理形態は、防犯上や景観上、望ましいものではないと認識しており、維持管理に支障のない範囲で街のにぎわいや景観に配慮した有効活用を図れるよう、各交通事業者に要請していく。

日暮里駅南口の紅葉橋は、老朽化し、安全性に問題があるため、速やかな整備が必要である。バリアフリー化も含め、架け替えに向け、さらなる取り組みをすべきと考えるがどうか。

現在、JR常磐線のホーム拡幅工事が予定されており、併せて紅葉橋の架け替えができないか、協議を進めている。架け替えの際は、バリアフリー化に配慮した取り組みが必要と考えている。

その他の質問項目

○環境について

誇りと生きる力を育む、何より筋と合理的で説明責任を果たせる区政について



小坂 英二
(日本創新党)

誇りと生きる力を育む、何より筋の通った教育を

日本人としての誇りを育む教育をするために、歴史的史実に基づいた教科書を選択すべき。

教育委員会は、教科用図書選定調査会の調査報告書を参考に教科書を適正に採択している。

問題を起す児童・生徒には、出席停止や別室個別指導を活用した指導を行い、まじめな児童・生徒の学ぶ環境を整えるべき。

出席停止を規則で定めてお

り、課題のある児童・生徒への指導の徹底とともに、毅然とした対応が重要と認識している。

一条校ではない外国人学校に通う子供の保護者への筋の通らない補助金は廃止すべき。

補助金の廃止は現時点では考えていないが、事実関係等の調査をしたいと考えている。

合理的で説明責任を果たせる区政を

子供手当の外国人への支給額、国内居住の外国人の子供の現

社会教育、社会体育と幸福実感都市 明らか方向性について



菅谷 安男
(自民党)

社会教育、社会体育

社会教育の分野では、着実に施策の充実が図られ、区民が様々な形で学びながら団体活動を活性化させ、地域のために活動している。区では昨年、地域の力をさらに高めるため、「荒川コミュニティカレッジ」も開講したところだが、社会教育の今後の方向性について問う。また、区民のスポーツを通じた体力づくり、スポーツ教育は大変重要であるが、今後の社会体育施策をどのように考えているのか。さらに昭和50年頃と比べると、区のスポーツ施設も整備されてき

たが、スポーツ施設の需要が増えている。さらなる施設整備が必要と考えるがどうか。

生涯学習の推進は区民の幸せに欠かせない基盤となる大切な分野と考えている。これまで様々な社会教育事業を実施してきた結果、多くの区民が青少年の育成のため、地域のために継続的に活躍しており、今後も区民と一緒に社会教育の振興に積極的に取り組んでいく。また、区民の健康づくり、体力づくりの推進は大変重要と考え、区民のスポーツに対する意識などの調査とともに、スポーツの

高齢者にやさしいまちづくりと子育て支援について



相馬 堅一
(共産党)

高齢者にやさしいまちづくりについて

南千住地域の町直しアンケータで、住民の目から見た改善点を明らかにし、改善を図るべき。

区は住民の意向調査を実施している。今後、現状を認識し、さらなる快適な街の創造に向け、継続的な発展を図るべきと考える。

バスを駅の近くに變更すること。また、はなみずき通りと4丁目側の交差点への信号設置などの安全対策を講じるべき。

議会や交通事業者、住民等の意見を聞きながら、バス停の適正位置を検討していく。信号機の設置は、実現に向け取り組む。

環境整備の方向性を検討する予定である。誰もが主体的に、健康づくりや体力づくりに取り組める生涯スポーツの実現に向け、社会体育施策を推進していく。

幸福実感都市あらかわの方向性

区長は、就任以来、「区政は区民を幸せにするシステムである」という区政の領域を掲げるとともに、基本構想における区の将来像を「幸福実感都市あらかわ」とし、区民の「幸福」に取り組んでいる。私が区議会議員として今日まで目指してきたのは、「赤ちゃんなら高齢者まで、区民の皆様の笑顔に満ち溢れた荒川区」「ちよつとやそつとでは負けやしないという不屈の精神に満ちた元気な荒川区」、すなわち、「区民の皆様の幸せ」であり、区長にはこれからも、区民の「幸福」のために全力を尽くしてほしいと願っている。「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けた今後の方向性について問う。

自転車駐輪場の確保はJRに働きかけ、現在、協議調整中である。バス停の屋根は、運行事業者と協議の上で、整備していく。

保育園、幼稚園の増設、巡回ワクチン接種など子育て支援について

4月入園の保育園申し込み状況、全区と南千住地域の入園不承諾の予測を示すこと。

申込者の総数は千人を超える。不承諾者は、今後、確定した段階で公表していく。

旧南千住幼稚園の場所に計画している保育園の前倒し開園や日暮里地域をはじめ必要な増設で、不承諾児対策を行うべき。

平成24年4月に旧南千住幼稚園跡地の認可保育園、25年4月に(仮称)第三東日暮里保育園を開設する予定である。今後も区は保育供給量の拡大に努めていく。

旧南千住幼稚園の再開を陳情

「幸福実感都市あらかわ」の実現を目指し、現在、荒川区自治総合研究所において、区の施策がどれだけ区民の幸福に寄与しているかを計る「荒川区民幸福度(GAH)」の研究を進めている。これを活用し、地域社会の幸福の実現のためにはどうしたらよいかを住民と行政、議会がともに考え、具体的行動を起こしていく住民参加型の社会を荒川区が先頭に立ち、創っていきたくて考えており、平成23年度予算でも、町会・自治会活動への支援やいきいきボランテアポイント制度、高齢者見守りネットワーク事業などを具体化した。これからは、全力で区政に邁進していく。

その他の質問項目

○子育て支援

○街づくり

○幸福実感度(世界レベル)

○今後の景気低迷の税収入減をどう乗り越えていくのか

されてきたが、今回、保育園用地に活用されることになった。幼稚園増設の願いにどう応えるのか。

区内幼稚園需要の動向を見据えつつ、既存の園舎を有効に活用し、適切に対応していく。

その他の質問項目

○区の公共事業にかかわって、ワーキングプアを作らない対策



平成 23 年度 予算を可決

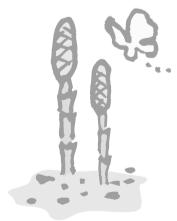
平成 23 年度一般会計予算ほか 3 特別会計予算は、「予算に関する特別委員会」（議長を除く全議員で構成・委員長＝菅谷安男、副委員長＝萩野勝）を設置し、2月24日から3月8日まで審査を行い、いずれも可決されました。



予算の審査経過

- 一般会計予算
(2月24日～3月8日)
- 2月24日 ○予算大綱説明(副区長)
- 総括質疑(7会派)
- ※主な質問項目は別掲
- 歳出審査(議会費・総務費)
- 2月25日 ○歳出審査(総務費)
- 2月28日 ○歳出審査(総務費・民生費)
- 3月1日 ○歳出審査(民生費)
- 3月3日 ○歳出審査(民生費・衛生費・環境清掃費・産業経済費)
- 3月4日 ○歳出審査(産業経済費・土木費)
- 3月7日 ○歳出審査(土木費・教育費)

- 3月8日 ○歳出審査(教育費・公債費・諸支出金・予備費)
- 歳入審査(一括審査)
- 締めくくり総括質疑(7会派)
- ※主な質問項目は別掲
- 採決
- 修正案(共産党提出)
- 採決の結果 否決
- 原案
- 採決の結果 可決



主な総括質疑

自民党

小坂 眞三 委員

- ・地域力強化に向けた町会の現状把握や課題への対応について
- ・学校図書館利用の現状と学校図書館を活用した教育について
- ・給食食材・教材等の契約における区内業者の活用について
- ・脳ドック検診に対する補助実施までの経緯と内容について

自民党

若林 清子 委員

- ・教育、子育て支援、福祉の視点から考えた三世同居について
- ・保育園入園の不承諾者数と待機児解消に向けた対策について
- ・東西道路補助331号線の残地対応について

公明党

保坂 正仁 委員

- ・地域主導の景気対策を視野に入れた予算編成について
- ・子宮頸がんワクチンなど任意のワクチン接種への助成について
- ・保育園入園待機児解消に向けたこれまでの取り組みについて

共産党

横山 幸次 委員

- ・今後を見据えた計画的な認可保育園の増設について
- ・国民健康保険料変更の区民への影響と介護保険料について
- ・回数増も含めたふろわり200の拡充について

民主・市民

瀬野 喜代 委員

- ・落ちこぼれゼロに向けた学校での補充学習の実施について
- ・元気クラブ
- ・高層建築物周辺の風害被害への対策について

日本創新党

小坂 英二 委員

- ・パチンコ違法化に向けたパチンコへの法定外課税導入について
- ・正論の会
- ・浅川 喜文 委員
- ・厳しい財政状況の中、吉村昭記念文学館などの設計費は凍結を

総括質疑の模様をご覧になりたい方はDVDを広報課及び各区立図書館で貸し出しますのでご利用ください。

平成23年 区長の施政方針説明

(一部抜粋・要旨)

おかげさまで、本年の施政方針説明が、本区政運営の要諦を、西川区長が、平成23年2月15日、西川区政運営の要諦を、今後の方針として、向う編成について行

平成23年第1回定例会の開会にあたり、私の区政運営に関する所信の一端を申し上げます。
自治体がめざすべき究極の目標は、「そこに住まう方々の幸福です。」「区政は区民を幸福にするシステムである」という事業領域を就任当初から掲げ、これまで区政に取り組んでまいりました。その延長線上にあるのが、荒川区が提起したグロスアラカワハッピーネス、区民総幸福度指標です。

「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

行政がめざすべき究極の目標である「幸福」を指標化し、これに基づいて区の施策の成果を定量的に把握することができれば、区民の皆様の幸福の実現に効果のある分野に集中的に財源と人員を配分することができ、区民サービスは飛躍的に向上することになると考えています。今後とも、区民の幸福度を尺度として、区政を、区民サービスをその根本から改革することにより、区民の皆様の不幸を少しでも減らし、幸福を実感できる地域社会づくりを懸命に取り組んでいく所存です。

このたびの平成23年度予算案

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

は、「区民の暮らしをしっかりと支え、幸福が実感できる予算」と位置付け、厳しい経済環境が続く中にあっても、区民生活をしっかりと支え、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて着実な前進を図れるよう、基金や起債の積極的な活用を始め、様々な工夫を凝ら

主な締めくくり総括質疑

自民党

北城 貞治 委員

- ・地域振興公社の人員費、芸術文化振興に向けた人選について
- ・地域振興公社の平成23年度事業計画と事業費について
- ・地域振興公社の芸術文化振興事業に対する区の見解について

自民党

竹内 捷美 委員

- ・区立特別老人ホームの維持管理と施設、設備の更新について
- ・介護職員処遇改善と介護サービス永年勤続従業者表彰について
- ・地域WIMAXの整備状況とその活用の重要性について

- ・区が考える景観形成と景観計画策定の今後の予定について

公明党 吉田 詠子 委員

- ・高齢者見守りに対する区の認識と今後の事業の展開について
- ・携帯電話などの通信機器を利用した高齢者の見守りについて
- ・関係機関と連携した認知行動療法によるうつ病対策について

共産党 斉藤 邦子 委員

- ・子ども・子育て新システムに対する区の認識について
- ・汐入に開設予定の区保育室の開設時期、保育内容について

- ・在宅介護における介護者の実態調査と支援のあり方について

民主・市民 清水 啓史 委員

- ・たばこの吸殻や放置自転車対策等の施策と経費の公表について

元気クラブ 斉藤 裕子 委員

- ・山形大学工学部と連携した商店街復興の取り組みについて

日本創新党 小坂 英二 委員

- ・議長・副議長の異常に高額な報酬、選挙方法の是正について

正論の会 浅川 喜文 委員

- ・図書館需要が高い南千住汐入と東尾久に、早急な建設を求める

平成23年度 予算の概要

単位：千円

年度区分	平成23年度 予算額	平成22年度 予算額	増減	増減率 (%)
一般会計	91,570,000	81,780,000	9,790,000	12.0
特別会計				
国民健康保険事業	25,356,000	24,547,000	809,000	3.3
老人保健医療	0	56,000	△56,000	皆減
後期高齢者医療	3,935,000	3,732,000	203,000	5.4
介護保険事業	13,887,000	12,656,000	1,231,000	9.7
計	134,748,000	122,771,000	11,977,000	9.8



平成23年度予算をどう評価する

3月14日の本会議において、平成23年度一般会計予算について各党派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

賛成

厳しい経済環境の下で区民を力づけたいという区の強い決意が込められた予算を評価

自民党

自由民主党荒川区議会議員団を代表し、議案第24号、平成23年度荒川区一般会計予算について、賛成の立場で討論する。

この度の地震では、現在も各方面からの懸命な救援活動が続く中、基礎自治体の機能が喪失してしまつた地域もあり、大変心配している。荒川区においては、地震発生後いち早く、西川区長の指揮の下、災害対策本部が招集され、区内の被害状況の把握など、全庁を挙げた迅速な情報収集、帰宅困難者等への避難所確保や食

料、水、毛布等の供給、救援要請のあった友好都市への物資輸送、見守りが必要な高齢者等の安否確認等に至るまで、大変、迅速かつきめ細やかに対応している。こうした、この間の区の対応を高く評価するが、今回を教訓に震災対策の一層の強化が図られるよう、強く要望する。

昭和59年第3回定例会において、「婦人事業団」創設及び婦人会館の建設など質問をし、婦人会館を始め、これまで提案の多くが実現し、今日の施策につながつて

賛成

区の重要課題解決に積極的に取り組む姿勢を評価、安定した財政運営と区民施策の充実を要望

公明党

生涯健康都市づくりや高齢者・障がい者施策の充実、子育てや教育環境の整備、産業振興、地球温暖化防止等の環境対策、防災・防犯対策など、区の重要課題の解決に積極的に取り組む区の姿勢を評価するとともに、行財政改革への取り組みの強化推進により、安定

した財政運営と区民施策の充実を求め、区民が幸せを実感できる都市荒川区の実現に向けた積極的な取り組みを強く要望する。また、区は、我が党が提出した「13分野、71項目の最重要要望」と「6分野、181項目に及ぶ予算に関する要望」を踏まえ、限り

ある財源を重点的・効果的に配分し、メリハリの効いた予算を編成したと受け止めている。我が党は予算特別委員会において、都、23区を巻き込んだ景気対策、各種ワクチン接種への具体的対応、保育園入園待機児の解消など様々な要望や改善を求めた。さらに締めくくり総括質疑で提案した高齢者見守り事業の再構築、自殺・うつ病などの現代的な課題に対応するための認知行動療法の普及を強く要望する。

新たな公衆施設の整備、老朽化した小中学校の建て替えなど、今後も大きな財政需要が予測され

また、特に予算特別委員会で求めた南千住地域の緊急保育対策について、4月から確実に実施できるように改めて強く求めておく。 昨今、無縁社会と危惧される中でも、人とつながって地域を支え合う土壌が荒川区には幸い残っている。コミュニティカレッジでの人材育成に加え、町会・自治会への支援強化やいきいきボランティアポイント制度も、地域力が芽吹くのに有効な施策と大いに期待している。

これらのほかにも、予算特別委員会における我が党各議員からの様々な意見や提言を真摯に受け止め、本予算の執行にあたっては、一層の努力を強く要望するとともに、私も自由民主党荒川区議会議員団も、今後とも力強く西川区政を支えていくことを表明し、賛成の討論とする。

基金と起債の活用も考え方も含め、将来を見据えた健全な財政運営の維持を強く要望する。 我が党からの質問や提案、要望を今後の事務執行や予算編成に十分に反映し、区民生活の向上に一層の努力をすることを強く要望し、賛成討論とする。



反対

住民の最も身近な自治体として、
区民のくらし応援にさらに踏み込むべき

共産党

新年度予算案に反対する。区民生活の厳しさが一段と広がっている中、区民のくらしを支え、幸福が実感できる予算と位置づけられた新年度予算は区民のくらしを支えるものになっているのか。

保育園入園待機解消の緊急措置として、汐入小学校プレハブ教室への区立無認可保育室の4月開設は評価する。しかし、対策が後手に回っており、緊急対策の各地域での実施、年度途中の認可保育園・保育室の設置を強く求める。

また、75歳以上の高齢者の入院医療費無料化、月1万円の重介護福祉手当の支給実施、低所得者の介護保険料の負担軽減、区内業者の仕事づくり、小学校のアルパム代補助など、区民のくらし応援にさらに踏み込むべきである。

賛成

増大する行政需要に対応した予算案に期待、
中長期的な視点に立った財政運営を要望

民主・市民

行政需要が増大する中、基金を取り崩して経済のテコ入れを行う予算の効果に期待するが、将来の財政負担等を考慮する中長期的な視点に立った財政運営を要望する。今後、区として行うべき仕事を精査する事業仕分けを区民と共に行うことを検討してほしい。

生涯健康都市づくりでは、認知症予防に向けた総合的で効果的な

反対

財政出動は一部の特定の人の利益に偏っていないか。土地取得の経緯にも疑義。

元気クラブ

地域経済の低迷が続く中、西川区政は血税で『財政出動型』の予算を組んだ。この財政出動は一部の特定の人ではなく、大多数の区民に還元されるべきだ。低価格契約の是正が課題となる中、ふれあい館建設工事だけが高い落札率で

賛成

真に必要なものを取り入れた予算案に賛成、
問題提起した課題への取り組みを要望

日本創新党

多くのニーズを吸い上げ、各分野で着実な施策展開を図る平成23年度予算案を評価する。予算執行にあたり、日本創新党が問題提起

が、人と人のつながりのある温かい地域づくりに邁進し、区民のエンパワーメントに力を尽くすことを要望して、賛成討論とする。



委員会活動

10月14日～3月14日

平成22年第3回定例会終了後から平成23年第1回定例会最終日までの間の各委員会の活動状況をお知らせします。

議会運営委員会

- 10月28日 議会改革に関する検討
- 11月15日 第4回定例会について
- 11月26日 議会改革に関する検討
- 12月8日 第4回定例会最終日について
- 12月21日～22日 行政視察を実施（三重県「定例会の会期見直し」三重県鈴鹿市「本会議場のスクリーン活用」）

常任委員会

- 10月19日 〔所管調査事項〕平成22年特別区人事委員会勧告の概要
- 10月25日～27日 行政視察を実施（青森県八戸市「第5次八戸市行政改革大綱」「窓口サービス改革推進事業」、青森県十和田市「十和田フィルムコミッション」「十和田湖観光再生計画」、青森県弘前市「弘前市職員人材育成基本方針」）

総務企画委員会

- 11月16日 第4回定例会提出予定案件
- 11月30日 〔議案審査〕4件
- 12月1日 〔議案審査〕3件
- 〔所管調査事項〕荒川区における今後の入札・契約制度のあり方
- 1月12日 〔所管調査事項〕大規模商業施設の出店
- 2月2日 第1回定例会提出予定案件〔陳情審査〕1件

反対

不要不急の「荒川二丁目吉村昭文学館などの複合施設」建設設計費などは凍結すべきである

正論の会

一般会計予算に反対する。反対理由の第一、平成23年度予算編成で、貯金を70億円取り崩し借金を30億円積み増した。その結果、借金残高が60億円も多い借金財政に陥った。この結果、区財政は平成24年度以降逼迫し、平成26年度は154億円も借金残高が上回る危機的な見通しで、不要不急の事業は慎むことが肝要です。

第二、荒川二丁目への吉村昭文学館・こども施設・図書館の複合施設建設は、区民が望んでいるのか？はなはだ疑問である。当分の間、本計画は断念すべきである。第三、図書館需要は東尾久四丁目などの地域と、南千住汐入地域に特化している。区民需要を尊重し東尾久四丁目図書館建設、汐入公園に汐入図書館を建設すべし。



【所管調査事項】

- ・荒川区実施計画（平成23年度～25年度版）の策定
- ・あらかわ区政経営戦略プラン（平成23年度版）の策定

【所管調査事項】

- ・第35回荒川区政世論調査結果
- ・プレミアム付き区内共通お買い物券の発行に対する支援
- ・債権管理の取組み状況

【議案審査】9件

- ・意見書案について
- 【所管調査事項】
- ・都区財政調整協議結果
- ・携帯電話等によるテレモ自治体情報提供サービスの終了

文教子育て支援委員会

10月25日～27日

- ・行政視察を実施（鹿児島県鹿児島市「すこやか子育て交流館」、鹿児島県南九州市「南九州市立知覧図書館」、熊本県熊本市「熊本市立図書館」）
- ・富合小学校の「熊本市立図書館」
- ・富合小学校の「熊本市立図書館」
- ・富合小学校の「熊本市立図書館」
- ・富合小学校の「熊本市立図書館」

10月29日

- 【所管調査事項】
- ・「はなみずき保育園」指定管理者候補者の選定結果

11月17日

- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）荒川二丁目複合施設建設に係る基本設計業務プロポーザルの実施

- ・尾久八幡中学校建替え・区民運動場整備の概要
- ・荒川総合スポーツセンターの（仮称）キッズルーム等の整備

11月30日

- 【議案審査】1件

12月3日

- 【議案審査】3件

【所管調査事項】

- ・区立幼稚園の応募状況
- ・放課後子どもプラン事業の実施校拡大

1月13日

- ・幹部職員の発令
- 【所管調査事項】
- ・教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果

【陳情審査】1件

- ・第1回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・新学習指導要領に対応した授業時数の確保
- ・荒川遊園における自動販売機の設置

2月23日

- 【議案審査】5件
- 【陳情審査】1件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区学校教育ビジョン推進プランの改定（案）
- ・生涯学習4施設の指定管理者の選定
- ・行政視察の集約
- 3月14日
- 【議案審査】1件

【所管調査事項】

- ・行政視察を実施（北海道北見市「共生型ふれあいホーム」、北海道旭川市「介護保険事業」、市民活動交流センターCoCoDe「e」、岩見沢保健所「自殺予防対策の推進」）

10月19日～20日

- ・区外施設調査（那須高原「ホテルビューパレス（板橋区協定保養施設）」、那須高原学園「北区しらかば荘」、グリーンパール那須）

10月25日～27日

- ・行政視察を実施（北海道北見市「共生型ふれあいホーム」、北海道旭川市「介護保険事業」、市民活動交流センターCoCoDe「e」、岩見沢保健所「自殺予防対策の推進」）

- ・第4回定例会提出予定案件

11月16日

- 【議案審査】1件

11月16日

- 【議案審査】1件

【所管調査事項】

- ・ふれあい館に係る指定管理者候補者の選定結果
- ・荒川区区民ひろば館条例の一部改正

【所管調査事項】

- ・都市型軽費老人ホーム整備促進事業
- ・区施設における受動喫煙防止対策の新たな方針の策定
- 【請願審査】1件
- 12月1日
- 【議案審査】5件
- 【所管調査事項】
- ・屋外の猫対策事業のこれまでの取組状況等
- 1月12日
- 【所管調査事項】
- ・あら坊入り原動機付自転車標識の導入
- ・町屋三丁目障がい者就労支援施設の開設
- ・障がい者就労訓練の内容拡充
- ・特定保健指導の実施結果
- ・特別区国民健康保険料に係る賦課方式の移行
- ・行政視察の集約
- 2月2日
- ・第1回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・救急医療情報キットの配布
- ・たんぼぼセンターの機能充実
- ・南千住ふれあい館の名称の決定
- ・町屋ふれあい館の名称の決定
- ・尾久ふれあい館の名称の決定

- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 【所管調査事項】
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定
- ・子宮頸がん等ワクチン接種費用助成の準備事務
- ・区の芸術文化振興方針とACCの今後のあり方

【所管調査事項】

- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 【所管調査事項】
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定
- ・子宮頸がん等ワクチン接種費用助成の準備事務
- ・区の芸術文化振興方針とACCの今後のあり方

【所管調査事項】

- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 【所管調査事項】
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定
- ・子宮頸がん等ワクチン接種費用助成の準備事務
- ・区の芸術文化振興方針とACCの今後のあり方

【所管調査事項】

- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 【所管調査事項】
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定
- ・子宮頸がん等ワクチン接種費用助成の準備事務
- ・区の芸術文化振興方針とACCの今後のあり方

【所管調査事項】

- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 【所管調査事項】
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定
- ・子宮頸がん等ワクチン接種費用助成の準備事務
- ・区の芸術文化振興方針とACCの今後のあり方

- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 【所管調査事項】
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定
- ・子宮頸がん等ワクチン接種費用助成の準備事務
- ・区の芸術文化振興方針とACCの今後のあり方

【所管調査事項】

- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 【所管調査事項】
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定
- ・子宮頸がん等ワクチン接種費用助成の準備事務
- ・区の芸術文化振興方針とACCの今後のあり方

【所管調査事項】

- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 【所管調査事項】
- ・荒川生活実習所及び荒川福祉作業所の指定管理者の選定
- ・子宮頸がん等ワクチン接種費用助成の準備事務
- ・区の芸術文化振興方針とACCの今後のあり方



峽田ふれあい館

【所管調査事項】

- ・「荒川区男女共同参画社会推進計画」の改定
- 2月21日
- 【議案審査】9件
- 【所管調査事項】
- ・ふれあい館4館（南千住、町屋、尾久（いずれも仮称）、荒川山吹）の指定管理者の選定
- ・文化施設3館（荒川区民会館、日暮里サニーホール、荒川区ムーブ町屋）の指定管理者の選定
- 12月1日
- 【議案審査】5件
- 【所管調査事項】
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月19日
- 【調査研究事項】
- ・荒川区並びに荒川・尾久消防署との覚書の締結
- 1月20日～21日
- ・行政視察を実施（新潟県上越市「中越沖地震の被害とその他の対応策」、新潟県長岡市「ながおか市民防災センター」）
- 1月26日
- 【調査研究事項】
- ・全国瞬時警報システム（J-ALERT（ジェイアラート））の運用
- ・地域防災無線の更新整備
- 2月14日
- ・行政視察の集約
- 11月5日
- ・区内視察調査（三河島駅前地区）
- 【調査研究事項】
- ・三河島駅前地区の再開発
- 12月13日
- 【調査研究事項】
- ・三河島駅前地区の再開発
- 12月15日～16日
- ・行政視察を実施（静岡県浜松市「浜松駅前の再開発」、岐阜県岐阜市「岐阜駅西地区市街地再開発事業」）
- 11月2日
- 【調査研究事項】
- ・荒川区内から東京スカイツリーへの現交通アクセス
- ・荒川区の現在の都市交流
- 12月16日～17日
- ・行政視察を実施（山形県鶴岡市「藤沢周平記念館の運営」、山形県酒田市「酒田夢の倶楽部」、本間美術館）
- 1月24日
- 【調査研究事項】
- ・荒川区の現在の都市交流
- ・行政視察の集約
- ・区内視察調査（観光ボランティアガイドの案内による区内視察）
- 2月14日、議会運営委員会委員の一部辞任があり、新しい委員が議長により選任されました。
- 辞任 齊藤泰紀 議員
- 選任 服部敏夫 議員

【所管調査事項】

- ・ふれあい館4館（南千住、町屋、尾久（いずれも仮称）、荒川山吹）の指定管理者の選定
- ・文化施設3館（荒川区民会館、日暮里サニーホール、荒川区ムーブ町屋）の指定管理者の選定
- 12月1日
- 【議案審査】5件
- 【所管調査事項】
- ・特別養護老人ホーム及び在宅高齢者通所サービスセンターの指定管理者の選定
- ・荒川区営住宅の指定管理者の選定
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月17日
- ・第4回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・廃プラスチックのサーマルリサイクル実施による効果と影響
- ・荒川区区民農園事業の終了
- ・荒川遊園における（仮称）「下町都電ミニ資料館」の設置
- 12月3日
- 【議案審査】3件
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・コンサルタント派遣制度の拡充
- 12月24日
- 【所管調査事項】
- ・（仮称）「荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例」の制定
- ・荒川遊園の今後の管理運営のあり方
- 11月13日
- 【所管調査事項】
- ・コミュニティバス利用者累計300万人達成記念式典
- 11月9日～11日
- ・行政視察を実施（大阪府吹田市「地下機械式駐輪場」、広島県広島市「ゼロエミッションシティ広島を目指す減量プログラム」）
- ・広島市西部リサイクルプラザ、福岡県大野城市「コミュニティバス『まどか号』」
- 11月1

荒川区議会の議会改革の取り組みについてお知らせします

荒川区議会では、区民の皆様の負担に
 応え、責務を果たしていくとともに、時
 代の変化に的確に対応した議会運営を行
 うため、さまざまな議会改革の取り組み
 を進めています。

今回は、荒川区議会が進めてきた議会
 改革の取り組みの一部をお知らせします。

〔政務調査費の削減〕

政務調査費とは、区議会議員の調査研
 究のために必要な経費の一部として、地
 方自治法に基づき、区が条例を定めて、
 交付しているものです。

平成18年第4回定例会において、議員
 提案により条例の改正を行い、交付され
 る政務調査費を削減しました。

現在、荒川区で交付される政務調査費
 は、議員1人あたり、月額8万円です。
 これは23区の中で最低額となっています。

〔本会議及び委員会に出席した場合の費用弁償の廃止〕

議員に支給される費用弁償は、地方自
 治法に基づき、区が条例で金額や支給方
 法等を定めています。

平成19年第2回定例会において、議員
 提案により条例の改正を行い、議員が本
 会議及び委員会に出席した場合に支給さ
 れていた費用弁償を廃止しました。

23区のうち、本会議及び委員会に出席
 した場合の費用弁償を支給しない区は、
 荒川区の他に1区です。

政務調査費、本会議及び委員会に出席
 した場合の費用弁償について、他の22区
 と比較すると次のようになります（平成
 23年1月時点の調査による）。

○政務調査費

（議員1人あたりの月額）

・荒川区 8万円

・他の22区

最高額 24万円
 最低額 12万5,000円
 平均額 16万9,318円

○本会議及び委員会に出席した場合の費
 用弁償

・荒川区 支給なし
 ・他の22区

支給あり 21区

定額支給の区 19区

最高額 5,000円

最低額 2,500円

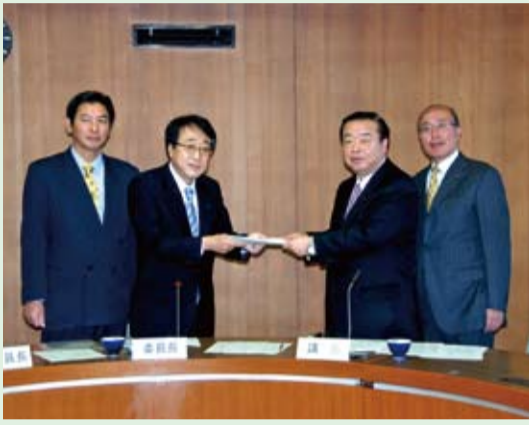
平均額 4,079円

実費支給の区 2区

支給なし 1区

現在は、議会運営委員会において、議
 長から諮問されている「さらなる議会改
 革の方策」について、調査・検討を進め
 ており、結論の出たものについては、順
 次、議長に答申しています（写真は第5
 次答申の様子。写真右から戸田光昭副議
 長、守屋誠議長、北城貞治議会運営委員
 長、保坂正仁同副委員長）。

答申の実施にあたり、条例の改正が必
 要な場合は、委員会として議案を提出し
 ました。これまでに、月の途中で議員の
 職についた場合や辞めた場合に、その月
 分の報酬は在職日数に応じて日割りで計
 算した金額を支給することや区議会議員
 が外国に出張する場合に支給する支度料
 を廃止することなどの条例改正を行いま
 した。



議案の審議結果

平成 23 年第 1 回定例会

○ 賛成 × 反対 - 退席

太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果
	自由民主党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	日本共産党荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	日本創新党	あらかわ正論の会	
議員提出議案 (7件)								
第1号 荒川区重度要介護高齢者福祉手当条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
第2号 荒川区高齢者介護保険料負担軽減助成条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
第3号 荒川区後期高齢者入院医療費の助成に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
第4号 荒川区住宅リフォーム促進・区内施工業者仕事づくり条例	×	×	○	×	○	×	×	否決
第5号 「協同労働の協同組合法」の速やかな制定を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	-	可決
第6号 若者の雇用対策のさらなる充実を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第7号 鳥インフルエンザ対策の強化を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案 (31件)								
第1号 荒川区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2号 荒川区職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第3号 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第5号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第6号 荒川区特別区債管理基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第7号 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第8号 荒川総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第9号 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第10号 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第11号 幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第12号 荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第13号 荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第14号 荒川区住民基本台帳ネットワークシステムの適正管理等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第15号 荒川区印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第16号 荒川区ふれあい館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第17号 荒川区営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第18号 荒川区立環境学習情報センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第19号 荒川区立児童遊園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第20号 荒川区民住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第21号 平成22年度荒川区一般会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第22号 平成22年度荒川区老人保健医療特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第23号 平成22年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算(第2回)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第24号 平成23年度荒川区一般会計予算	○	○	×	○	×	○	×	可決
第25号 平成23年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	×	○	○	可決
第26号 平成23年度荒川区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	×	○	○	可決
第27号 平成23年度荒川区介護保険事業特別会計予算	○	○	×	○	×	○	○	可決
第28号 尾久八幡中学校建築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第29号 特別区道荒313号線の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第30号 損害賠償請求事件に関する和解について	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意 第1号 荒川区副区長の選任同意について(三ツ木晴雄氏)	○	○	○	○	×	○	○	同意